



平成30年12月25日・12月号

光が丘二中学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

本校に特別支援教室が設置されます

校長 中山 徹

今回は、来年度から本校に設置される特別支援教室に関係することがらについてお伝えしていきます。

○特別支援教室とは・・・

特別支援教育に関する文部科学省及び東京都教育委員会の方針に基づき、本校でも次年度（平成31年度）より、特別支援教室が設置されます。

特別支援教室は、すでに平成28年度から区内の小中学校には設置されておりますが、次年度から区内のすべての中学校にも設置されることとなります。

特別支援教室とは、教員が巡回指導することによって、通常の学級に在籍している発達障害等の生徒に対して、これまでは通級指導学級で行ってきた特別な指導・支援を、在籍校でも受けられるようにしたものです。

○発達障害とは・・・

発達障害について、限られた紙面で説明するのは大変難しいのですが、その子どもにとって「困難なこと、苦手なこと」の例として、次のような内容が示されています。

※東京都発達障害者支援センター 喜多民子 主任相談員の資料を参考にしました。
あくまで一例としてとらえてください。

自閉症スペクトラム症 (ASD)

- ・話し言葉のやりとりが難しい
- ・言葉に現れない相手の意図がつかみにくい
- ・目に見えないこと、言葉に現れないことを想像することが苦手
- ・周りに合わせることに苦手
- ・予定変更や想定外のできごとに特に弱い
- ・複数の情報の同時処理が苦手

など

注意欠如・多動症 (ADHD)

- ・刺激にすぐ反応してしまう
- ・思い立つとすぐ行動してしまいブレーキがききにくい
- ・覚えておくこと、記憶の保持が困難
- ・しなければならないことに集中するのがとても困難
- ・時間や期限に間に合うように段取りして実行することがとても苦手

・注意の配分がうまくできない

など

学習障害 (LD)

- ・「文字→音」「音→文字」の変換が十分にできない
- ・文字の見え方が一般の人と違う場合がある
- ・文章を読む際、行を追うことが難しい
- ・計算の際、位取りの概念が頭に入らなかったり、繰り上がり・繰り下がりが理解できなかったりする
 - ・数字を記号としてしかとれえられなかったり、数の概念となかなか結びつかない



○特別支援教室での取組を進めることにより…

取組で特に大切なことは、該当生徒に応じた適切な指導・支援を進めていくことです。そのことにより、集団生活や学習の場面における彼らの負担感を減らしていくことができ、安定した学校生活を送る基盤が確立されていきます。

特別支援教室での取組を通して、

「生徒と教員が1対1でじっくり関われる」

「教員が生徒の良さを見つけられる、生徒にとっては褒められる機会が増えていく」

「生徒は静かな部屋で落ち着いて勉強できる」

「教員は生徒の特性に応じた学習方法を工夫できる、それによって生徒に自信がつく」

「在籍校の学級担任と巡回指導教員の連携が緊密になる」

「教職員や保護者が発達障害のある生徒への指導内容を知る機会が増え、障害に対する理解が深まる」

といったことが期待できます。個別指導、小集団指導などを通してきめ細かな指導・支援を進めていきます。

「本校の特別支援教室について」 ～主な点についてお知らせします～



- ①本校校舎4階(現、英語少人数教室)に設置予定です。今後、教室改修、必要な物品の搬入を行っていきます。
- ②巡回指導教員(練馬東中学校より派遣されます)による指導・支援を受けます。巡回指導教員は(本校を担当する日は)1日本校勤務となります。また、特別支援教室専門員が配置され、巡回指導教員をサポートします。特別支援教室専門員は非常勤職員で週4日程度の勤務です。勤務日は1日在校します。さらに、必要に応じて臨床発達心理士が(不定期ですが)巡回し助言をおこないます。
- ③対象生徒が特別支援教室で受ける指導・支援は、生徒1人につき原則週1日です。時数は生徒によって異なります。その時間、対象生徒は自分のクラス(授業)から抜けることとなります。そして、特別支援教室で個別指導、及び必要に応じて小集団での指導を受けることとなります。
- ④次年度新生は、練馬区教育委員会での就学相談を経て特別支援教室に通うことが決定します。現在、本校に在籍している生徒で、特別支援教室への通室を希望する(または通室に関して相談したい)場合は、まず副校長へご連絡下さい。なお、次年度に入ってからでも、年度途中に通室を希望することもできます。
- ⑤特別支援教室に通室するには、あくまで「生徒本人及び保護者が合意していること」が前提となります。また、通室手続きを進める中で専門家の検査等を受けることにもなります。
- ⑥イメージがもてない部分も多いと思います。また、現在開室準備進行中の事柄ですので、未確定の部分もございます。質問等がある場合は副校長(前田)までお願いいたします。可能な範囲でお答えしていきたいと思っております。

平成31(2019)年もよろしくお願いたします。良い年をお迎え下さい。

※12月の生徒の活躍(表彰等)については、1月号でお伝えします。